

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：吉村仁美・加藤宏樹

Vol. 11 2023. 11. 29

みなさんこんにちは。生駒消防署隊員の方から、当院で応急手当普及員の研修が開催されました。定期的開催され、今回で3回目の開催です。受講された社会福祉士/精神保健福祉士の吉村仁美さんに研修の感想を書いていただきました!!

応急手当普及員研修を受講して…

「業務連絡 119」の放送が入ったときに、一緒に働く医師や看護師が現場に駆け付けられるように業務を引き受けることが自分の役割だと思っていました。それぐらいに、今までは自分が一次救命処置をおこなうことはほとんど想定していませんでした。しかし病院で働く専門職として、目の前で患者さんが倒れたときや町の中でそのような場面に遭遇したときに、何もできなくていいのかと少し考え始めたところ、今回のように学ぶ機会をいただき、参加させていただきました。

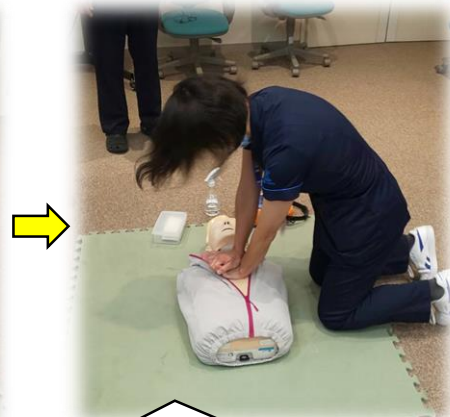
テキストによる座学の後、胸骨圧迫、AEDの使用などの実技講習がありました。胸骨圧迫の「強く、速く、絶え間なく」は思っていたよりもずっと難しく、技術も体力も必要だと感じました。AEDが「ショックは不要です」と判断しても胸骨圧迫は救急隊の到着まで続ける必要があると教えていただき、医師や看護師だけでなく、一病院職員としても一市民としても、継続して学ぶことの重要性を感じました。この度は貴重な機会をありがとうございました。



消防士の方から、応急手当・救命措置を教わっています。



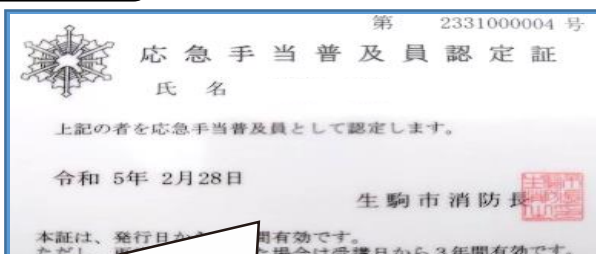
倒れている人を発見した
吉村さん



呼吸・循環なし! 胸骨圧迫
開始!!

そもそも応急手当普及員とは?

応急手当普及員とは、消防機関による応急処置技能の普及や教育をする人員またはその資格で誰でも受講することが出来ます。本資格は3日間の研修期間が必要ですが、医療従事者に限り一部免除され、救命措置の座学、成人・乳児に対する「心肺蘇生とAEDの使用」「窒息に対する対処」を中心に研修を受講しました。今後も定期的に応急手当普及員研修の開催を依頼していく予定です。



応急手当普及員認定書を頂きました!
(れっきとした公的資格です!)

応急手当普及員に興味があれば、ぜひ、救命救急の加藤までご一報ください!! (PHS:5113)

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)